

超高齢社会の救急医療

—熊本の医療連携を維持・発展させるために—

「救急・集中治療における終末期医療に関するガイドライン(3学会からの提言)」が平成26年にだされ、超高齢社会を迎えたわが国の救急医療が大きく変貌してきている。

ACP のサポートはどこが担うべきか、急性期病院で受け入れる在宅患者の実態、在宅・施設での救急搬送の判断の葛藤など、受け手、送り手それぞれの課題を踏まえて討論し、超高齢社会の中でも熊本の医療連携を維持・発展させていく方策を探る。

(協会副会長・勤務医部会長 橋本洋一郎)

急性期病院

済生会熊本病院 院長 中尾浩一 氏
熊本赤十字病院 院長 平田稔彦 氏

◆パネリスト7名と指定発言者によるそれぞれの立場からの発言の後、病院・病院以外のグループに分かれ、討論を行います。

サブアキュート・回復期病院

菊南病院 院長 室原良治 氏

かかりつけ医

非在宅医

とだか内科クリニック 院長 戸高幹夫 氏
ひまわり在宅クリニック 院長 後藤慶次 氏

在宅医

訪問看護ステーション

たっくりハサポートセンター
在宅看護専門看護師 河添こず恵 氏

介護施設

有料老人ホームピュアート良町
看護師 田中清美 氏

指定発言

一般社団法人 熊本市医師会 会長 園田寛 氏

【座長】橋本洋一郎 氏(協会副会長・勤務医部会長)、松本武敏 氏(協会理事)

参加無料・申込不要 ※スタッフの方のご参加も歓迎いたします

2018年**10月31日**(水)19:00~21:00

会場:市民会館 シアーズホーム夢ホール・大会議室

(熊本県熊本市中央区桜町1番3号 TEL096-355-5235)